

ビジョン	自分自身でやりたいこと	地域の仲間とやりたいこと	小山市と共創したいこと	他地区と連携してやりたいこと	優先順位
文化・歴史・伝統行事の継承による地域の結び付き 各神社の秋祭りや子供奉納相撲は、時代とともに形を変えながら開催され、世代を超えて地域の絆と笑顔が育まれています。各地域の 33 年に 1 度の御開帳は、生成 AI などの最新技術により作法や歴史的背景が記録され、次世代に継承されています。また、アプリや道の駅で地域情報が発信され、受入れが寛容な土地柄から地域イベントでは来訪者を歓迎し、交流の輪が広がっています。	・神社の大祭などの地元イベントに進んで参加し、継承に寄与する ・昔遊びや特技など今の子どもができないようなことを披露する ・しめなわ作りを教える会 ・老後を大切にしたい。共通の趣味の人を見つけて競い合いながら何かしたい。競い合うことが生きがいにつながる。 ・塩沢のお囃子をが途絶えてしまったことがさみしい。復活させたいと思い塩沢でフエをふける人を探したがいない。他地区へ勉強しに行き、3 年後に結成。道具も古く、市の補助金で新調できた。今では祇園祭や駅南のお祭りに呼ばれるようになった。 ・子どもたちが地域の神社やお寺のことを知らないので、歴史や文化を伝えたい ・若手の活躍を盛り上げたい	・道の駅でおはやし ・御開帳は実行委員会が立ち上がり自治会も協力して地域で実施。稚児行列ができなくなった。子どもたちの記憶に残るようなことをしたい	・各地域の神社を修復したい。文化財じゃないので補助がでない		
地域のつながりを生み支える農業 多様な農業者が共存・協力し、農業の振興と遊休 農地の抑制が図られ、農業体験では生産から消費までを学ぶ食育の場であるとともに、農地の多面的機能の大切さを学ぶ環境教育の場にもなっています。田んぼの学校を通じてこどもたちや住民の理解が深まり、地域全体で農業を支える文化が醸成され、水路清掃や平地林の保全により自然環境が守られ、渡り鳥や間中の桜並木など自然の恵みを感じられます。	・桜並木の草刈り ・農業の新しい手法に挑戦してみたい。自然の保全はほったらかしではできない。しっかり人の手を入れて管理したい。 ・地域農業を活性化したい	・農家のつながりの場、情報交換の場を作りたい。 地域の自然を守る。豊穂川沿いの桜の保全。自然の保全はほったらかしではできない。しっかり人の手を入れて管理したい。 ・農家のつながりの場、情報交換の場を作りたい。穂積は農業が中心。みなが集まれる場を作り情報交換の場を作りたい。 ・田んぼの学校は子どもたちに農業を伝える良い取り組み。しかし草刈りなど田んぼの所有者しかやらない。田んぼの学校のサポーターが 40 人ほどいるので、みんなで維持管理をしていきたい ・有機農業を増やしてほしい	・思川土手のラジコン場 ・農地への不法投棄。以前から問題となっているが中々減らない。 ・農業定年制度（若手はいくらでもいる） ・農業従事者の後進を育てることに力を入れる。	・生き物調査を他の地区の子どもを呼んでやってみたい ・思川の河川敷の野焼き。周辺自治会と合同でできれば消防団の出動回数など負担軽減になる。 ・住む場所、農業する場所、人が集まる場所を分ける ・都市部の小学校との交流	
若さあふれるコミュニティ 地域住民の活発な交流により顔が見える関係性が築かれ、地域でこどもを育てる環境が整っています。若い世代も積極的に行	・間中の空き家を活用して民泊	・30 歳とかの世代は地元から出て暮らしている、何か戻ってきやすい組織（同窓会とか） ・人生のタイミング（家を建てる、子供	・地元に戻ってきやすい仕組みづくり（手続き関係） ・集まりや交流などは行政に最初のきっかけをやってもらえれば続くかも	・各地区の景観スポットをテーマを設定して見どころとして発信 ・他の地区などの知らない人たちとの交流をしてみたい	

ビジョン	自分自身でやりたいこと	地域の仲間とやりたいこと	小山市と共創したいこと	他地区と連携してやりたいこと	優先順位
事に参加し、子育て世代が穂積の日常をSNS で発信すると、多くの人の目に留まり、移住促進と地域の魅力向上につながっています。リニューアルされた道の駅思川は、こどもの遊び場やカフェ、足湯などがそろい、地域内外から多くの人が訪れています。		の就学、定年退職）で地元に戻る ・自治会で青年部をつくる（同学年、同級生など） ・作戦会議（飲み会） ・穂積地区全体で大同窓会 ・小中学生と自治会長で公民館で交流 ・独居の方々のためにできることをやる ・自治会の役員の負担。自治会長にすべて乗かってきており負担。自治会の在り方も含めて検討したい。 ・穂積全体で交流できるようにしたい。 前は自治会対抗運動会や盆踊りがあった ・自治会役員として2年、会長で2年、だいたい5年くらいは自治会に関わるが、人が変わってしまうので、新たに全体で何かをやろうというのが難しい。組織作りをしたい ・地域対抗運動会の開催	・空き家や高齢世帯の住宅の木の伐採。 権利関係で手が出せないところなど行政のバックアップがあればやりやすい。 ・自治会への消極的な方が多いので他の自治会と協力して再構築を図る。既存のシステムを維持しようと思えば、合併もやむないと思う。行政が中心となって再編が図れれば ・未来を考えるなら若者の意見をもっと聞いたほうがいい		
生活利便性向上による住み良さ 公共と民間の交通サービスが組み合わされ、AI デマンドバスやグリーンスローモビリティ注1 の導入により利便性が大きく向上したことで車を運転できない人でも安心して暮らしています。地区の地理的特性を生かし、都市部と田園部を結ぶ交通のハブ機能も果たしています。ボランティア送迎や移動スーパーの活用により、買い物・通院がしやすく、道路は基幹道路と生活・農業用道路を区分し、街灯が整備され、こどもから高齢者まで安全に通行できるようになりました。また、河川の拡張など水害への備えが進み、専用アプリで情報が発信され、住民は適切な避難行動ができるようになりました。防犯パトロールや空き家を改装して移住者用に提供するなど地域全体で防災と住環境の向上に取り組んでいます。			・道路の維持管理を地元と行政が連携して行う ・住みやすいまちづくり（インフラ整備） ・30年後を考えるなら今を変えないとずっと変わらない	・水害時には、他の地区への避難を行いたい。穂積地区内での避難の完結は難しい。小山地区などに避難できる場所などがあれば。	
そのほか		・今の穂積が「ちょうどいい」変わって欲しくない	・着物を着て楽しめる場所	・別の地区の先進事例を学ぶ会 ・他の地区で成功事例を学びたい	